

沖縄の強みと表面処理技術が融合したアジアのものづくりハブ創生プロジェクト Phase2
 (【一般型】事業額1,394万円)

沖縄県
 有限責任監査法人トーマツ

プロジェクト全容

プロジェクト概要

➢ R2年度に沖縄唯一となる表面処理の専門企業の進出が決まっており、この表面処理産業の定着を支援するとともに、県内ものづくり事業者へ表面処理技術の活用の普及啓発、製品開発支援を進める。また、R1年度調査にて腐食速度が早い沖縄の環境を活かした製品稼働中の曝露試験ニーズを把握しており、既存試験場の把握、関係者協議、技術/制度面の課題整理等の支援を行い、長寿命製品開発支援機能・O&M拠点機能の構築に向けた戦略策定を行う。

裨益する産業分野：【その他製造・加工】

支援対象とする事業開発：表面処理技術を活用した試作開発、地域ブランドの体制構築、新規PJの戦略策定、販路開拓

連携支援計画との関連：【沖縄県成長ものづくり分野連携支援計画】を踏まえた事業。

プロジェクトの必要性・アピールポイント

R2年度に電気めっき事業者の沖縄進出が決まっており、この中核企業への定着支援を中心に県内需要と県外需要の双方へ対応できる体制構築を図る。

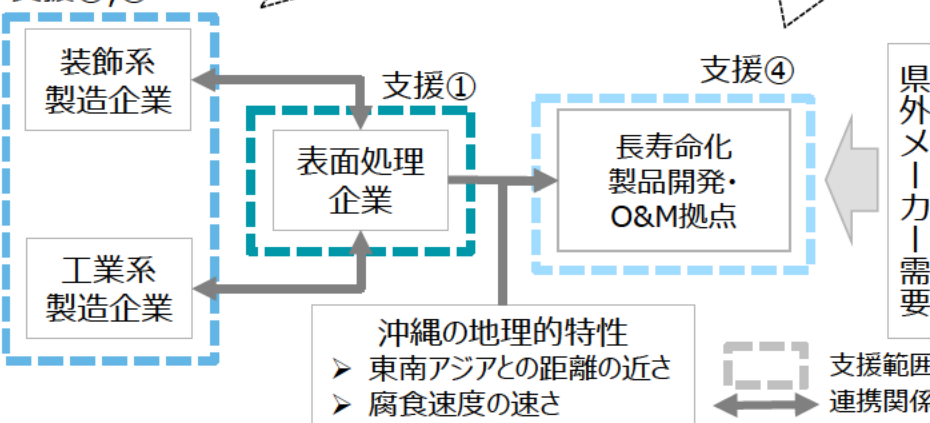
支援計画1：表面処理体制の定着支援（基盤整備）

表面処理企業と支援機関である工業技術センターと連携してWSを企画することで、県内事業者の需要掘り起こしを図るとともに、表面処理企業と県内企業のマッチング機会を創出することで表面処理体制定着の支援とする

支援計画2：リーディングプロジェクト創出（県内需要）

支援計画3：ものづくり拠点化（県外需要）

支援②,③



プロジェクト概要及び目標

支援計画

- ① 沖縄県へ進出する電気めっき事業者と連携し、県内製造業者へ試作WS等を開催し、表面処理技術活用の普及啓発を行う。
- ② 装飾品の地域ブランド構築のための関係者協議、体制・運用モデルの構築支援を行い、ブランド化に向けたプロジェクト組成を行う。
- ③ R1年度調査をもとに製造業者向けの高付加価値製品開発支援として、技術/制度面の課題抽出、連携体制支援を行い、PJ組成を行う。
- ④ 長寿命製品開発支援機能・O&M拠点機能の構築に向け、関係者協議、課題整理、体制構築支援を行い、実現に向けた戦略策定支援を行う。

地域の支援体制の強化

➢ 支援機関と県内事業者間のネットワークを広げ、企業マッチングの機会を創出するために企画集客力を強化する

	事業年度の目標	事業後1年目の目標	事業後2年目の目標	事業後3年目の目標
事業での想定合計支援企業数	3社	5社	20社	30社
事業終了後3年以内に新規事業の売上計上まで到達する社数	0社	1社	12社	22社
支援対象企業群の常時従業員一人当たり売上高成長率の、事業年度から事業終了後3年度までの幾何平均	0	2.7	5.3	8.0
【支援体制の能力指標】 セミナーへの参加企業数	17社	20社	25社	30社